

久喜市議会

平成22年11月定例会

市政に対する質問通告

第1日目	質問予定議員(発言順)
11月29日(月)	①齋藤広子 議員 ②岸 輝美 議員 ③富澤孝至 議員 ④石川忠義 議員 ⑤田村栄子 議員 ⑥大鹿良夫 議員 ⑦鎌田忠保 議員 ⑧鈴木松蔵 議員
第2日目	質問予定議員(発言順)
11月30日(火)	①石田利春 議員 ②杉野 修 議員 ③木村奉憲 議員 ④松村茂夫 議員 ⑤内田 正 議員 ⑥宮崎利造 議員 ⑦矢崎 康 議員 ⑧青木信男 議員
第3日目	質問予定議員(発言順)
12月 2日(木)	①盛永圭子 議員 ②鈴木精一 議員 ③梅田修一 議員 ④渡辺昌代 議員 ⑤春山千明 議員 ⑥戸ヶ崎博 議員 ⑦岡崎克巳 議員 ⑧上條哲弘 議員
第4日目	質問予定議員(発言順)
12月 3日(金)	①園部茂雄 議員 ②猪股和雄 議員 ③並木隆一 議員 ④足立 清 議員 ⑤大谷和子 議員 ⑥井上忠昭 議員 ⑦田島行雄 議員

【第1日目 11月29日（月）】

① 齋藤広子 議員

- 1 発達障がい児の取り組みについて。
鷺宮中央保育所跡地に建て替え予定の子育て支援センターを、発達障がい児の発達支援も行う多機能な施設にできないか伺う。
- 2 安心・安全メールを久喜市での活用について。
市内で発生した災害や不審者などの緊急情報を携帯電話へ情報発信することはできないか伺う。
- 3 学生ボランティアによる学習支援について。
久喜市内及び近隣市町村にある大学（東京理科大）などに協力を要請し、小学校、中学校の授業や放課後など、教育委員会が、主体的に学生ボランティアを進めて行く考えがあるか伺う。
- 4 子宮頸がんワクチンについて。
厚生労働省は、補正予算で子宮頸がんワクチンを、市町村に対して接種費用の2分の1を助成することになったが、久喜市として積極的な取り組みを伺う。
- 5 ファミリーサポート施設について
 - (1) ファミリーサポート施設、横の空き地を利用して、駐車場にできないか伺う。
 - (2) ファミリーサポート施設に、現在トイレがなく、子どもが来た時に困っている。トイレを新設できないか伺う。

② 岸輝美 議員

- 1 交通信号機の格上げを。
吉羽地区図書館通りと吉羽公園東側、太田小通り交差点には手押し信号機が設置されている。太田小通りは同校正門に通じる主要通学路である。通常信号機への格上げを求めるものだが。
- 2 中落堀川の河川浄化を求める。
旧久喜市街地を流れる「中落堀川」は最近多くの部分においてアシが生い茂り、よどみと悪臭を生じている。アシの除去・底地の浚渫等を含む浄化を求めるものだが。
- 3 高齢者を対象とする肺炎球菌予防接種への助成を求める。
肺炎は日本人死因の4番目であり、年間8万人にも及ぶ。高齢者の市中肺炎の原因は、肺炎球菌が圧倒的に多く、この予防接種はその80%に有効とされる。本格的高齢社会を迎え、最近多くの自治体が助成制度を導入している。
久喜市でも予防接種への助成を求めるものだが。

4 一体感の醸成を求め、行政と係わる市民団体・行事の統一・再編を進めるべきである。

「合併記念式典」も成功裏に終了した。市長式辞にもあったように『地域特性・個に踏まえつつも、一体感にたったまちづくり』を進めるべきである。今回特に行政が補助金・助成金等で深く関わる市民団体・行事について伺う。

- (1) 市民団体の可能な限り早期での統一・合体を進めるべきである。(例 体協・文連・観光協会・商工会等々) 現状と指導・助言の考えを伺う。
- (2) 行政の係わる市民行事の最大のものとして、市民まつりが上げられる。
来年は25回大会という節目を迎える。新市誕生後の新しい市民まつりのあり方(形態)を考えているか。(市民まつりの会22年度総会での実行委員長挨拶)
- (3) 基本的に10月・11月に行われる菖蒲・産業祭、栗橋・やさしさ・ときめき祭り、鷲宮・コスモスフェスタを日程的に可能な限り集約、「久喜市民まつりー菖蒲(栗橋・鷲宮)*****」として統一していく考えはどうか。
- (4) 他に再編成を考えるべき行事はあるか。

③ 富澤孝至 議員

1 市長の県内大学での講演における将来の合併構想。

- (1) 将来の合併構想として、周辺の幸手市や宮代町、杉戸町などとの合併を視野に入れるとの発言に対する真意を伺う。
- (2) 市長が言う将来の合併構想の「将来」とはいつか。

2 菖蒲地区の公共交通の充実を図るべきだが、今後の市の展望について。

- (1) ニューシャトルの延伸についての考え方。
- (2) 地下鉄7号線建設誘致期成同盟の現状と今後の展望について。
- (3) 鉄道駅が無い久喜市菖蒲地区への地下鉄7号線の延伸の考えは。
- (4) その他、鉄道の無い地区への鉄道誘致構想はあるか。

④ 石川忠義 議員

1 来春には、県道杉戸久喜線の立体交差化事業が完成することから、市内を並行している市道久喜1号線(六間道路)の役割は変わると見られる。

今後の市道久喜1号線は、より歩行者や自転車が安心して走行できるものへと近づけるべきである。今後の市の考えを伺う。

- (1) 歩道幅員が極めて狭く、車椅子どころか歩行者も通行できない箇所がある。対策を講じるべきであるが、考えを伺う。
- (2) 歩道幅員が狭いため、既に自転車が民家の軒先至近を通行している。危険を回避できるよう安全対策を早急にするべきであるが、考えを伺う。

- 2 貴重な緑や動植物が残る1級河川、中川の自然生態系保護・復元を積極的に進めるべきであるが、市の考えを伺う。
- (1) 中川の自然生態系保護・復元に関する市の基本的考えを伺う。
 - (2) 市が予定している中川に係る自然生態系保護・復元に関する構想や計画・案などを伺う。
 - (3) 県の「中川水辺再生事業」に関する県と市のこれまでの協議内容を伺う。
 - (4) 県の中川水辺再生事業の進捗に対する市の考えを伺う。
 - (5) 市は、中川水辺再生事業に関して、さらに自然生態系保護・復元に力点を置くべきことを県に主張するべきであるが、考えを伺う。
- 3 福祉オンブズパーソン制度は、条例施行にもかかわらず7ヶ月以上に渡って1人の委員さえ委嘱しなかった。
- 救済・相談制度であることを踏まえると、利用ができない状態を放置していたことは許されない。
- 原因と今後の対策を伺う。
- (1) 合併直後から、これまでのオンブズパーソン選任作業について、時系列に説明を求める。
 - (2) これまでの福祉・保健・医療に係る相談や苦情は、どのように対応してきたのか伺う。
 - (3) オンブズパーソン制度の市民への周知を速やかかつ広範に行うべきである。これまで、どの程度行ってきたか伺う。
 - (4) オンブズパーソン制度についての各担当課職員への周知を徹底すべきである。これまでの対応について伺う。
 - (5) オンブズパーソン利用申込みがあった場合の窓口対応、作業手順を定めるべきである。これまでは、どのように行う予定だったか、また、どのような形でこれらが定められてきたのか伺う。
- 4 地域包括支援センターの「包括的・継続的なケアマネジメント支援業務」「介護予防ケアマネジメント事業」について、利用者から不安の声があがっている。それぞれ、改善すべきだが考えを伺う。
- (1) 久喜市では、介護保険運営協議会が地域包括支援センター運営協議会を兼ねている。地域包括支援センターの各業務については、各センター間の情報交換や課題共有・解決が重要である。会議録の存否からは会議を開催した形跡がないが、地域包括支援事業に係る報告や協議・調整などはどのように行ってきたか伺う。
 - (2) ケアマネジャーの業務について、不安の声があった。全ての地域包括支援センターのケアマネジャーの情報交換、研修などはどのように今年度は行ってきたか伺う。
 - (3) 社会福祉協議会に委託している東地域包括支援センターにおいて、利用者から事業者のサービス提供内容に関する不安の声があった。東地域包括支援センターの職員体制と監督体制を伺う。
- 5 自立支援給付費等の不正請求事件に関わる損害金全額の早期返還を急ぐべきである。前回議会後の経過と今後の取り組みについて、市の見解を伺う。

⑤ 田村栄子 議員

1 学校給食について。

- (1) 自校方式の給食の継続が望まれるが、栗橋南小学校北校舎建て替え中の学校給食はどうなるのか。
- (2) 新市における学校給食の運営方針はいつ頃決定されるのか。また決定までの行程を問う。
- (3) 自校方式の給食の食材を地産地消にしていると思うが、その点はいかがか。

2 都市ガス埋設管の安全性について。

- (1) 久喜市栗橋地区で進行中のガス管埋設工事に関して。
 - ア ガス管埋設工事はかなり進捗し、完成に近づいているようだが、今まで行政はどのように関わってきたのか。また、今後の関わりはどうか。
 - イ 安全面に関して、住民から不安の声がある。ガス管への通ガス前のガス漏れチェック等、ガス管の安全確認はどうか。また今後長期に亘り使用するため、工事後の企業によるガス管の安全性確認定期検査、老朽化へのメンテナンスが必要と考えるが、行政としての情報収集・指導等の対応はどうか。
 - ウ ガス管への通ガス前に、企業による住民説明会を行うよう指導すべきと考えるが、見解を伺う。
- (2) 万が一災害が起こった場合、想定されるガス漏洩事故への行政としての対応、住民の避難対策等をどのように考えているか。
- (3) 日常において、ガスによる事故の未然防止のため、住民への用心する構え等の啓発が必要と考えるが、いかがか。

3 久喜市要援護者見守り支援事業実施について

- (1) 旧3町への久喜市要援護者見守り支援事業の展開の考えおよび実施予定は。
- (2) 旧3町を含めた区長、民生委員・児童委員協議会、自主防災組織等への当事業実施協力要請の考えと説明会の予定は。
- (3) 旧久喜市での要援護者見守り支援台帳と見守る側の台帳の現状および活用状況はいかがか。また作成上の課題はいかがか。
- (4) 年1度の登録者の状況把握は、現状で十分行われているか。問題があるとしたらいかなる部分か。その解決策をどう考えるか。また現状での状況把握に要する時間と人数はどうか。
- (5) 支援台帳の個人情報保護法に基づいた情報取り扱い上の基準をどう考えるか。

⑥ 大 鹿 良 夫 議 員

1 水稲、彩のかがやき等の高温障害による被害の対応について伺う。

- (1) 水稲栽培面積に占める彩のかがやきの割合は。
- (2) 彩のかがやき等の規格外等級の割合は。
- (3) 被害者数と被害総額は。
- (4) 被害者の救済方法は。
農業共済組合。J A南彩・J A埼玉みずほ。国・埼玉県・久喜市。
- (5) 学校給食に彩のかがやきを。

2 緑の学校ファームについて伺う。

児童が地域の支援者の協力で収穫したものは、給食に使えるとよいと思うが。(特に田植えしたお米)

⑦ 鎌 田 忠 保 議 員

1 上水道行政について。

- (1) 漏水等の発生の際の対応のために既存の久喜市管工事組合と業務委託契約を結んでいるが、7月26日に菖蒲地区でおきた漏水事故には組合員の業者では間にあわないので、業務委託を結んでいない組合の業者が応援施工をしたが、行政としてはどう考えているか。
- (2) 1市3町の合併時にそれぞれの地域にある水道事業者が統一されないのを知りながら、なぜ既存の久喜市管工事組合が新市区域全体をカバーする業者と認め業務委託契約を結んだのか伺う。
- (3) 現在の久喜市管工事組合との委託契約内容を伺う。

⑧ 鈴 木 松 蔵 議 員

1 合併による行政の効率化と財政効果について。

- (1) 職員の定員管理について、初年度の経過を見て次年度にどう反映していくのか伺う。
- (2) 役職が多すぎではないか、伺う。
- (3) 課が細分化しすぎ、課が多すぎではないか。
- (4) 事務経費の削減効果をどう見るか。
- (5) これらをどう評価し、見直すか伺う。

【第2日目 11月30日（火）】

① 石田利春 議員

1 位置指定道路や私道の管理について。

位置指定道路や、私道は、日常生活で一番身近な道路であり、道路管理や整備などについて市の見解を伺う。

- (1) 位置指定道路の管理については、どのように進めているか。
- (2) 私道の管理については、どのように対処しているのか伺う。
 - ア 栗橋東2丁目11-23から29にかけての私道の状況を把握しているか。
 - イ これまでどのような対応をして来たか。又、今後市が検討していることはあるか。

2 利根川強化堤防に伴う対応について。

国の事業仕分けにより、スーパー堤防事業の中止があきらかとなり、栗橋地区ですすめられている強化堤防事業への影響を心配する声がある。

- (1) スーパー堤防事業中止が強化堤防事業へ影響するかどうか、状況を把握しているか。
- (2) 強化堤防の移転事業はどこまで進んでいるか。
- (3) 今年度移転を希望しながら次年度へ繰り越しとなった方は、どれぐらいの件数となっているか。
- (4) 移転に伴う次年度の予算確保状況を把握しているか。
- (5) 貸家や建物、土地の登録制度を活用された方は。
- (6) 近隣の皆さんへ登録制度の広報活動はされているか。

3 県産ブランド米「彩のかがやき」高温障害について。

今年の夏の猛暑により、埼玉県ブランド米「彩のかがやき」が高温障害を受け大打撃を受けている。状況を把握し、販路の拡大や補償の対策をとるべきだが、市の見解を伺う。

- (1) 久喜市で「彩のかがやき」の作付け面積と、その比率は。
- (2) 高温被害の状況はどうか。収穫量及び販売価格など通常価格と比較してどうか。
- (3) 農業共済での補償は可能か。
- (4) 政府の個別補償は、今回の場合どのようになるのか。補償されるのか。
- (5) 販路拡大の取り組みで、給食や市の職員などへの活用、量販店での販売促進などの取り組みは。
- (6) 市として広報活動など購買への協力など対策は。

4 防犯灯の維持管理について

旧3町では防犯灯の維持管理を行政が行い、旧久喜市では、設置は市で、維持管理は各行政区が行っている。

防犯灯の維持管理経費については、市が担うべきだと考えるが、今後久喜市ではどのような管理体制を考えているのか伺う。

- (1) 旧1市3町の維持管理のシステムはどのようになっているか。新規の場合も含めて伺う。
- (2) 久喜市において、各行政区が負担している電気料の金額及び割合はいくらか。
- (3) 今後の維持管理システムはどのようにすすめるようとしているか。

② 杉野修 議員

1 鷺宮地区での学校防犯推進員の制度復活について。

本年9月より市内小学校に「安全監視員」が配置され、鷺宮地区では「学校防犯推進員」が廃止された。

- (1) 推進員は地元の方であり、児童生徒の事情を把握したうえで安全安心の見守りを続けてきた。なぜ廃止したのか理由を伺う。
- (2) 防犯推進員制度や活動に問題があったと考えるか伺う。
- (3) 地域の住民や関係者が築いてきた体制やコミュニティが「旧久喜市に合わせるため」に失われるとすれば本末転倒ではないか。関係者の多くが復活を望んでおられる。ぜひとも見直し復活を求める。

2 鷺宮東コミュニティセンターの施設拡充について。

鷺宮地区のJR東側では鷺宮東コミュニティセンターが唯一の公共的空間である。多くの住民が転入、増加する中で、ますます重要な地域の拠点になっている。

- (1) 2006年に廃止された図書室は、年間3,000人以上の子どもたちが読書や自習に利用してきた。「図書室」の再開を求めるが、考えを伺う。
- (2) 住民数から、部屋などの空間が絶対的に少ない。増築拡張して会議室を増やすことについて考えを伺う。
- (3) 学童保育は増築したスペースに移動して事業を行うよう提案するが、考えを伺う。

3 都市計画法違反の事案について。

久喜市鷺宮（下新井地内）において都市計画法に違反する事案があり、これまでは埼玉県が対応をしてきた。

- (1) なぜ開発許可を受けずに建物が建てられたのか、その理由と経緯を伺う。
- (2) 県は当該物件について「除却」の方針であったと聞かすが、市としてはどう考えているか伺う。
- (3) 本物件で現在、所有者と賃貸契約を結んでいる業者が操業の中で発生させる騒音、振動が近隣住民に多大な迷惑をかけている。この件に関して市の対応を伺う。
- (4) 違法状態に対しては、「是正勧告」「是正命令措置」など速やかな行政対応が求められるが方針を伺う。

4 JR東鷺宮駅「橋上化」および周辺のバリアフリー化事業について。

本事業は周辺住民や利用者が最も望んでいることであり、事業着手は待ったなしである。

- (1) 進行中の調査業務の中で委託業者と協議・報告していれば、その内容を伺う。
- (2) 今後の調査予定内容とスケジュールを伺う。
- (3) 設計や構造に関しては、バリアフリー法の趣旨や、住民の要望を取り入れることが重要だが、市の考えを伺う。

5 国民健康保険の事業と税率統一について。

国保の広域化や高齢者の医療制度のありかたなど、社会保障制度であり、国民皆保険制度としての国保の制度がいま崩壊の危機にある。その原因には、不況と企業による非正規雇用の増大や、高すぎる国保税などが土台にある。

- (1) 資格証については「悪質事例を除いて」発行をしないよう求めるが考えを伺う。

- (2) また資格証世帯の方が病気治療のため、医療機関を受診し、窓口から市の担当に保険証の交付を申請した場合、どのような対応をするのか伺う。
- (3) その際、窓口での負担は何割になるか伺う。
- (4) 税に関しては「応能主義」の原則がある。統一後の国保税の応能：応益の割合は50：50を予定しているが、資産、所得に応じた体系に改善すべきである。考えを伺う。
- (5) 国保税の滞納世帯は年収200万円以下が約7割である。無保険者の実態など被保険者の置かれている生活実態の調査を行い、税率の統一に当たっては、一般会計からの必要な繰入れをおこなって負担増とならないように努力することが、社会保障制度を守る市の責任である。考えを伺う。

③ 木村奉憲 議員

1 高齢者医療制度の改革について。

厚生労働省は10月25日に「高齢者医療制度改革会議」で後期高齢者医療制度に代わる新制度の内容を明らかにした。基本的には、これまでの高齢者を別建ての医療制度にし、高齢者に大幅な負担増を強いるものである。これは現政権の公約に反する。後期高齢者医療制度を廃止し、国民の合意で誰もが安心できる制度にすべきである。このため、久喜市の現状とともに以下の点について質問する。

- (1) 新制度の基本的な改革方針はどんな内容でどのように行政はとらえているのか。
- (2) 費用負担とその影響試算はどうなるのか。久喜市への影響はどのように具体化されてくるのか。
- (3) 高齢者負担増だけでなく、現役世代への負担は。
- (4) 後期高齢者医療制度の廃止は政権公約の違反であり、速やかに廃止し、老人保健制度にいったん戻し、国民の合意が得られる制度の改革を図るべきである。この点を国に対し申し入れるべきだ。

2 国保の「広域化」について。

厚労省は9月27日、現在市町村が運営している国民健康保険について、全年齢を対象に都道府県単位の運営に移行する「広域化」を全国一律で期限を定めて実施する意向を表明した。これは後期高齢者医療制度に代わる論議の中で、その基本は医療費の削減であり、全国の地方自治体へ大きな影響を与えると同時に国保加入者をさらに受診抑制に追い込むものである。このため、以下の質問をする。

- (1) 厚労省の「広域化」構想について、その目的とスケジュールをどのように把握しているのか。
- (2) 県単位の運営は「一般会計からの繰り入れを行う必要は生じない仕組みとする」としているが、現在高すぎる国保税を抑制するため一般会計から繰り入れている現状がなくなることへの影響をどうみるのか。
- (3) 「広域化」により、国保税がさらに引き上げされ、受診抑制を強いるものだが、その影響をどう見るのか。

3 非核・平和都市宣言の制定を。

新久喜市合併により、1市3町にあった「非核・平和都市宣言」や「人権尊重・平和都市」宣言が棚上げになったままである。6月の代表質問での市長答弁で「新たな宣言の策定にあたって早期に定めるべく準備を進めている」とあったが、その後の経過や検討内容を以下質問する。

- (1) 1市3町の平和への宣言の趣旨とその目的はどのような違いがあるのか。
- (2) 憲法と非核への宣言を明確にするべきだが。
- (3) 実行委員会の組織はどのように進めているのか。市民との協働のもと進めていく計画とスケジュールは。
- (4) 宣言にあたって、記念行事や市民への周知は。

4 歩道への自転車専用標識と自転車専用道路の拡充を。

改正道路交通法が平成20年の6月から実施された。とくに自転車の通行区分の明確化とその運行が大きな問題になっている。また、自転車専用道路の設置を拡大する政策も進んできている。埼玉県も700キロ構想を策定している。以下質問をする。

- (1) この改正の目的とその後の市内の状況は。
- (2) 自転車歩行者道（自歩道）の久喜市内の設置状況は、国道、県道と市道ではどの様になっているのか。
- (3) 「自歩道」での自転車標識の明確化と区分をしっかりと行うべきだが。
- (4) 広い歩道での自転車道の色分け区分をすべきだが。
- (5) 自転車専用道路の国と「県の構想」は。
- (6) 市内での自転車専用道路の計画推進を図るべきだが（利根川河川敷や広い道路などの利用を）。

④ 松村茂夫 議員

1 医療について。

- (1) 久喜市医療体制等推進協議会設置について、経過と現状、方向性を伺う。
- (2) 済生会栗橋病院の救命救急センターについて、行政としての支援をどのように考えているか。
- (3) JA埼玉県厚生連久喜総合病院の開院に向けての準備状況と、開院前の内覧等の予定はどうなっているか。

2 新市誕生後の課題として。

- (1) 職員のミスを防ぎ意欲を高める方策は何か。課単位で創意や工夫がきめ細かに評価される形があってもいいのではないか。
- (2) 市が所有し利用していない、あるいは空いている土地、建物について、常時公表し市民からの利活用の提言を受け付けるようにしておくのはどうか。
- (3) 旧市町それぞれが素晴らしい歴史と伝統に基づく祭りを持っていることを、合併によって改めて知った。全部の地区が一つの催しに集まる行事をやってはどうか。たとえば、中学校区ごとで出し物を決めた文化祭などが想定されるがいかがか。

3 中島撫山先生没後100年について。

何らかの記念行事を考えているか。撫山大学として当時の漢学を現代に生きる学問として講義してはいかがか。

⑤ 内田正 議員

1 総合運動公園に隣接する「緑の山」を行政として、どう関わっていくのか、伺う。

この地は、昭和40年代頃のはじめに農家土地所有者と民間業者との間で売買契約がされ農地約3ヘクタール、沼田約1ヘクタールが不法埋め立てにより現在に至っている。このことから現在までの40有余年間、移転登記も出来ない現状にあり、不法埋め立てによる土地は手つかずのまま「緑の山」として勇姿を誇っている。しかしながら時代の変遷とともにその後に来た総合運動公園をはじめ周辺には様々な施設や道路などが開通し、いまや市として貴重な「緑の山」である。いまや売買契約をした人達は大半が亡く、子や孫が経緯も知らずに相続している状況で、市は不法埋め立て地が故に法遵守の精神は理解するものの、40有余年という永い間、何も進展しない状況を行政としてどう関わっていくのか、伺う。

⑥ 宮崎利造 議員

1 今年の異常気象により農産物被害が発生し、特に米の被害は甚大である。夏の酷暑の影響で県が開発したブランド米の「彩のかがやき」に規格外の米が続出している。このため、埼玉県は久喜市を含む県内34市町を対象に県の特別措置条例に基づき水稲被害に関する特別災害指定を行い、被害の回復費として次期作の種苗及び肥料購入費に対する補助を決定し補正予算に計上した。久喜市としてもどのような対策を考えているのか伺う。

2 市民待望のJA南彩久喜直売所が11月28日にオープンしたが、この施設は農産物の地産地消を促進し、生産者（農家）と消費者（市民）を結びつける施設であるため、生産者にとっても消費者にとっても喜ばしい事である。

今後の利用者の利便を図る上からも、市民に対しPRが必要と思うが、市の考えを伺う。

⑦ 矢崎康 議員

1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型について。

- (1) HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）の母子感染予防の周知、情報提供はどのようにすすめてきているか。
- (2) 埼玉県による抗体検査の導入、検査費用の公費助成についての状況は。
- (3) 職員の研修や、感染者への相談窓口、発症者への支援や福祉対策について取り組むべきと思うがどうか。

- 2 肺炎球菌ワクチン助成について。
久喜市において早急に取り組むべきと思うがどうか伺う。
- 3 カーブミラーに通報先表示を。
事故などでカーブミラーが破損したり向きが変わってしまった場合、それに気づいた市民に通報してもらい、放置されたままの状態をなくすため、通報先を表示してはいかがか。また、そのカーブミラーの番号表示も消えていたり、表示のないものがある。そこで伺う。
 - (1) 現在、久喜市市内のカーブミラーはいくつあるのか。
 - (2) 番号表示の修繕はどのようにおこなっているか。
 - (3) 点検についてどう取り組まれているか伺う。
- 4 封筒の有効活用と収益事業について。
 - (1) 久喜市から各家庭に送られる封筒に、広告事業として有料広告を掲載できるようにしてはいかがか。
 - (2) 近隣市町では大きな封筒には、再利用できるように印刷がなされているが、市の考えを伺う。
- 5 デマンドバスの実証運行の提案について。
公共交通検討委員会で検討課題とされているデマンドバスについて、北本市の実証運行方式を考えてはどうか。

⑧ 青木信男 議員

- 1 歩道整備計画について。
 - (1) 県道12号線（川越栗橋線）の歩道整備について伺う。北中曽根から菖蒲地区内の歩道整備の進捗状況と今後の整備計画について伺う。
 - (2) 菖蒲地区内、JA南彩本店前から小林地区内の歩道未整備部分の今後の計画と取り組みについて。
 - (3) 国道122号、三箇小学校横断歩道橋から春日部菖蒲線の歩道整備計画について。
- 2 治水対策について。
菖蒲総合支所前、小林調整池の今後の整備計画について伺う。昭和57年から用地買収が始まり、一部工事を着手したが完成見込みを伺う。

【第3日目 12月2日（木）】

① 盛永圭子 議員

1 市道の整備について。

(1) 道路舗装について。

市道の舗装率は、菖蒲地区は55.5%、鷲宮地区が83.9%、栗橋地区は89.1%、久喜地区は68.1%、平均で70.8%となっている。

この舗装率について市の見解と、今後の対応について伺う。

(2) 日常の生活道路については砂利道の箇所が多く、乳母車や、高齢者の手押し車にとっては歩きにくいのが現状で、現況舗装をしてはどうか。ひとつの市になったのだから舗装率が同じになるよう努力していただきたいがどうか。

(3) 旧菖蒲町は、緊急行財政改革を実施していて、過去4年間は道路の改良工事を抑制してきた。合併が決まった後も行財政改革をやって、節約をしてきた。改良済みだが舗装をしていない未完成の道路が多く残っている。4年間以上、手をつけていない状態である。住民は合併したら、舗装をしてもらえるとがまんをしてきた。住民が合併して良かったと思える生活道路にしていただきたい。市の考えを伺う。

2 久喜市の花と木と鳥について。

旧久喜市は木がいちょう、花が梨の花、旧菖蒲町は木がさくら、花がアヤメ、旧栗橋町は木が金モクセイ、花がサルビア、旧鷲宮町は木が月桂樹、花がコスモスとそれぞれ市や町のシンボルの木や花があった。新久喜市としての考えを伺う。

3 菖蒲地区の「ブルーフェスティバル」について。

旧菖蒲町はラベンダーとアヤメの花を育て、観光に生かしてきた。新市として、この事業を継続すると聞いている。どのように考えているのか、市の意見を伺う。

② 鈴木精一 議員

1 農業再生に新たなアプローチ。

地域農業の衰退が止まらない。農業従事者の高齢化が進む中、農業再生を目指すには地産地消や消費者との交流に向けた新たなアプローチが必要ではないか。市の考えを伺う。

(1) 「まち」と「むら」の交流推進を。

ア 地域農業イベントの実施や広報活動。

(貸し農園を使った野菜栽培講習会、農産物まつり、直売所スタンプラリーなどのイベントの実施、市内への広報活動)

イ 「まち」と「むら」の交流協議会の設立。

- (2) 久喜産農産物のブランド化。
 - ア ブランド化出来る農業資源の掘り起こし。
 - イ 地場産農産物の市内・市外・海外へのPR活動。
 - ウ 梨・苺などの国内産地の研究、連携、交流。
- (3) 地産地消の拡大。
 - ア 農園・貸し農園・直売所マップの作成。
 - イ 民間直売所への出資、支援。
 - ウ 農業生産者への支援。

2 地域分権への取り組み。

地域のことは地域の手でおこなう地域分権。地域分権に取り組む自治体が増えている。本市は協働のまちづくりを標榜している。地域分権にはどう取り組むか。市の考えを伺う。

- (1) 地域分権をどう捉えているか。
- (2) 地域分権の現状、今後の工程。
- (3) 地域で自主的に行われている活動がある。どう支援していく考えか。

3 観光ボランティアガイド設立支援。

ボランティアが地域を案内する観光ボランティアガイド。全国で1600を超えるグループが確認されているという。県内でも観光ボランティアガイド組織が増えてきている。観光事業に取り込む本市として、推進すべき取り組みではないか。市の考えを伺う。

- (1) 観光ボランティアガイドをどう捉えているか。
- (2) 設立支援すべきではないか。

4 久喜・白岡ジャンクション周辺での交通渋滞解消。

久喜・白岡ジャンクション周辺での渋滞が恒常化。これは周辺での県道工事によって引き起こされている。議会で取り上げてきたとおり早急な改善が必要だ。市の考えを伺う。

③ 梅田修一 議員

1 新生久喜市の魅力づくりについて。

- (1) 県内各地ではご当地キャラクター、いわゆる「ゆるキャラ」を活用したまちおこしが盛んに行われている。久喜市としても他の地域に遅れをとることなくゆるキャラを積極的に活用していくべきと考えるが、現状認識と方向性を伺う。
 - ア 商工会青年部が製作した「菖蒲パン鬼一」の現在までの活躍状況と今後の予定について。
 - イ 新たに製作された「来久ちゃん」の活用について。
- (2) 全国的にB級グルメによる地産地消・商業振興が成功を収めている。久喜市でも地元食材を活用した独自のB級グルメを開発し、まちづくりの中で活用していくべきであるが、考えを伺う。
 - ア 現状の久喜市内でB級グルメと定義できるような食材の認識について。
 - イ B級グルメの開発・普及促進に対する支援体制について。

- (3) 近隣市では本年「ゆるキャラサミット」「B級グルメ選手権」といった高い発信性と集客力のあるイベントの誘致に成功している。新生久喜市としても、地域振興と新市の一体感を醸成できるような事業の誘致を図るべきであるが考えを伺う。
- (4) 埼玉県では県の魅力をPRするために観光特派員を200名委嘱している。市町村単位でも観光大使などを任命して市のイメージアップや観光振興に利用している事例があるが、久喜市としてのそのような活動に対する現状認識と方向性について伺う。
- (5) 埼玉県は都心から近く、都会から田園風景まで多くのロケに適した場所があるため、各地でフィルムコミッションが設置され、ロケの誘致が行われている。新久喜市でも様々なロケーションを集約して、地域活性化の施策として統一したフィルムコミッションを設置するべきと考えるが、現状認識と方向性を伺う。

2 日本の領土問題に対する教育方針について。

内閣府の調査によると北方領土問題を「学校の授業で知った」と回答した人の割合が3割以下とのことである。今後の日本の国益を守っていくためには教育現場での領土問題の啓発が不可欠である。市内小中学校において、北方領土・竹島・尖閣諸島といった日本の領土に対する問題がどのように取り上げられているか伺う。

④ 渡 辺 昌 代 議員

1 菖蒲老人福祉センターの利用改善について。

菖蒲老人福祉センターは平成21年度に改築され、大変明るくきれいな建物になったが、なぜか利用者が減少したときいている。利用率向上のための改善について伺う。

- (1) 改善前の利用者数と現状の数はどれくらいか。
- (2) バスの運行がなくなったが、その影響と今後は。
- (3) ホールの利用のしかたについて。
- (4) 他団体への貸し出しについて（利用について）。

2 鷺宮中央保育所跡地利用による子育て支援センター、ファミリーサポートセンター整備事業について。

鷺宮中央保育所の旧施設が耐震性をもたないということで、新たに子育て支援センターとファミリーサポートセンターを建設することになったが、そのことについて伺う。

- (1) なぜ子育て支援センターとファミリーサポートセンターの併設なのか。他は考えなかったのか。
- (2) 学童とのかねあいは。
- (3) 今後、どのように計画していくのか。
- (4) 子育て支援センターと併設する児童館を建設することはできないのか。

3 3人乗り自転車の貸し出しについて。

自転車の3人乗りは以前、道交法で違反とされていたが、昨年7月に同法が一部改正され、幼児2人を乗せた3人乗り自転車が許可となった。埼玉県では今年1月から3月まで購入にたいして、3万円の補助を行っていた。現在、その制度が終了してしまい、貸出を望む声が出ています。久喜市でも3人乗り自転車のリースを行ってはどうか。

4 生活保護のケースワーカー職員の増員について。

- (1) 昨年旧久喜市の決算委員会において、福祉課の残業の量と、過重職務についての緩和をお願いした。しかし、今年の決算では、その中身が改善されているようには思えない。まして本年度は、3町が加わり、国民生活が一向に良くならない、先行き不透明な経済状況の中で、現状はますます悪化しているのではないかと思われる。担当職員の増員をすべきである。過重負担の改善と生活保護者への十分な対応ができる体制作りをすべきだが。
- (2) 生活保護者チャレンジ支援事業を埼玉県で行っている。その中で、貧困家庭を対象とした学習教室として、中学3年生に学びの場を提供しているが、ぜひ県と連携をして、久喜でも行ってもらえるように要請してはいかがか。

5 旧菖蒲高校跡地利用について。

- (1) 旧菖蒲高校跡地の利用については、県との協議はどのように進められているか。
- (2) ブロック塀が老朽化し、危険な場所があり、対策を望むところだが、都市計画道路の関連で計画があるようだが、どのような計画になるのか。

⑤ 春山千明 議員

1 久喜市学校いきいき支援事業実施要綱を廃止し、平成22年10月1日に「久喜市教育活動指導員・支援員規則」が施行された。

その経過を伺うとともに、規則で定められている指導員・支援員の報酬を均一化し、さらに指導員・支援員は各学校の状況に応じた配置をして、より充実した事業とするべきであるが、いかがか伺う。

- (1) 久喜市教育委員会では、要支援児童生徒に対し適切な指導及び必要な教育支援を行っている指導員及び支援員の必要性から、どのように各学校に配置をするべきと考えるか、認識を伺う。
- (2) 旧久喜市いきいき支援事業実施要綱が廃止された。その経緯と現状を伺う。
- (3) 現在の「教育活動指導員・支援員の規則」の内容は、どこでどのように検討されたのか伺う。
- (4) 「教育活動指導員・支援員の規則」によると、指導員・支援員の報酬はそれぞれ違うが、職務内容が同じであれば報酬も同じくすべきであるが、いかがか伺う。
- (5) 各学校の支援が必要とされる児童生徒の状況をきちんと調査し、適正配置とするべきであるが、いかがか伺う。
- (6) 来年度の予算要求の中で、本事業に対する教育委員会の根拠はどのようなものか伺う。
- (7) 教育委員会の予算要求を受けて、財政課はどのような認識を持ったか伺う。

2 交通指導員の配置に対し、くらし安全課の責任の下、児童生徒の安全が適切に守られているか調査するべきである。また、学校や保護者と協議の上、配置箇所や配置日数を増やすなどして、さらに安全を確保するべきであるが、いかがか伺う。

- (1) 交通指導員の配置箇所を学校に任せるだけでなく、くらし安全課はそれぞれの箇所に適正に配置されているかを確認するべきであるが、いかがか伺う。
- (2) 学校との協議を密にし、学校や保護者からの要望を受け入れやすい状況にするべきであるが、いかがか伺う。
- (3) 必要な箇所には毎日指導できるように、交通指導員を配置するべきであるが、いかがか伺う。

- 3 循環バスのバス停の安全や利便性をさらに確保するため適正な管理をするべきであるが、いかがか伺う。
- (1) 久喜市は、循環バスの停留所の安全についてどのように認識しているか伺う。
 - (2) 歩道もなく車道脇のわずかなスペースにある停留所の中には、夜になると電灯もなく真っ暗な場所もあり、危険な状況にある。特にそのような場所に関しては電灯等を設置するべきであるが、いかがか伺う。
 - (3) 時刻表等は埃や排ガスで汚れが付着し、見えなくなってしまう状況のバス停がある。バス停の適正な管理に努めるべきであるが、いかがか伺う。
- 4 久喜市立さくら保育園、すみれ保育園の建て替えのための実施調査を速やかに行い、早急に建築計画を立て、建築に着手するべきであるが、いかがか伺う。
- (1) 前議会においてさくら、すみれ保育園の早急建て替えをとの質問に対し、部長答弁は両保育園の改築に向けた調査をし、できるだけ早期に計画策定をしていきたいとのことであった。早期に具体的計画策定を進めるべきであるが、9月議会での補正予算決定後、速やかに行うべき改築にむけた調査について、その進展を伺う。
 - (2) その結果、現時点での計画策定のスケジュールを伺う。

⑥ 戸ヶ崎博 議員

- 1 「彩のかがやき」の規格外米に対する取り組みについて。
- (1) 久喜市としての支援の取り組みの現状は。
 - (2) J Aと協力しての宅配方式などの推進は。
 - (3) 公共施設や事業所での活用は。
- 2 農作業事故防止の強化について。
- (1) 農業労災保険の加入推進を。
 - (2) 農業従事者の安全を守る取り組みについて。
- 3 高齢者大学の充実を。
- (1) 入学者減少から拡大に向けた取り組みを。
 - (2) 教室の確保のために空き施設、例えば総合支所などの活用を。
- 4 合併による新市のPRについて。
- (1) 駅や市役所などに新市の地図を設置してはどうか。
 - (2) 市の特産品の展示について。

⑦ 岡崎克巳 議員

1 道路整備について。

新市となり広域的な幹線道路の整備や都市計画道路の整備の推進が求められている。中でもJR東側の縦の幹線道路の整備、圏央道の側道と交差する都市計画道路、久喜東停車場線の整備など、長年またれているところである。今後は積極的整備を進める姿勢を示すべきである。

- (1) 先の議会で都市計画業務委託料で示されなかった県道316号線から国道4号線までの整備、また春日部・久喜線から白岡方面への整備。
- (2) 久喜東停車場線の整備。

2 防犯灯について。

LED防犯灯は計画的に設置し、危険な場所、犯罪の多発する場所は青色LED防犯灯を積極的に設置すべきである。また、防犯灯は「合併後、2年以内に統一」とのことだが、これからは電気料金を含めた維持管理を久喜市が行うべきである。

- (1) 久喜市の考えを伺う。
- (2) 年次計画を立て、LED防犯灯を設置すべきだが。
- (3) 現状の設置台数と契約ワット数、基本料金。

3 教員パソコンの充実について。

教職員の校務用パソコンは事務処理をする上で必要である。しかし、市内小中学校において1人に1台、整備されているところと、そうでないところがある。事務処理効率を上げるためにも、児童、生徒との触れあう時間を作るためにも充実が必要である。

- (1) 設置台数の現状と校務支援システムの現状。
- (2) 積極的な整備計画が必要だが、市の考えは。

⑧ 上條哲弘 議員

1 防災無線の運用について。

防災行政無線は、災害発生時や人命・財産保護に関わる「迷い人のお知らせ」、「ひったくり事件・詐欺事件」などについて放送しているが、放送が聞き取れなかった人のためにどのような対策がおこなわれているか。

2 災害時における飲料供給について。

- (1) 市内の災害対応型自動販売機の設置状況について。
- (2) 災害対応型自動販売機の災害時における飲料の供給等、防災に関する協力協定の合併後の締結状況について。

【第4日目 12月3日（金）】

① 園部茂雄 議員

1 防災リーダーの育成について。

大規模災害時には自主防災組織の協力は必要不可欠であり、市内の自主防災組織の普及と市民の防災に関する自主的な行動力を高めるために防災リーダー認定講習を行い、ひいては自主防災組織の普及を図るべきだが、市の見解を伺う。

(1) これまで防災に対する啓発と自主防災組織の推進をどのように行ってきたか、取り組みを伺う。

また、現在の自主防災組織の団体数と組織率を伺う。

(2) 防災リーダー認定講習会を実施し、認定者の育成と自主防災組織の推進を図るべきだが見解を伺う。

2 ホームページの充実について。

新市になりホームページも一新されたが、市民から情報不足で施設紹介等がなく不便であるとの意見が寄せられている。早急にホームページの内容を充実させるべきだが、市の考えを伺う。

(1) 市民からホームページへの問い合わせ等の状況を伺う。

(2) 施設情報や文化財については、詳細情報の表示、公共施設では詳細情報（写真や地図）や予約等にリンク付して、更なる利便性の向上を図るべきだが見解を伺う。

(3) 各課所管の行事・イベント・審議会開催の情報公開、またタイムリーな更新をするべきだが見解を伺う。

3 （仮称）白岡久喜バイパスの整備について。

県道78号線（春日部菖蒲線）の（仮称）白岡久喜バイパスの計画が進行中であるが、県の計画では早くも4～5年の事業が示されているが、来春に圏央道の久喜白岡JCTから白岡菖蒲IC間の開通、来夏にYKK APの操業開始が予定され、国道122号線から県道78号線への交通量の増大が予想される。

そこで市としても、企業誘致に対して、アクセス道路の整備を積極的に進め、県道については県に早急な整備を要望すべきだが見解を伺う。

(1) 菖蒲南部産業団地の想定される就業人数と、周辺道路の交通量がどれくらい増加すると見込んでいるか、認識を伺う。

(2) 最寄り駅は新白岡駅となるが、その為には白岡久喜バイパスの整備は喫緊の課題となるが、市としても早急な整備を県に対して要望すべきだが、見解を伺う。

4 賀詞交歓会について。

合併後の賀詞交歓会について、従来の方法を見直し、多くの関係者が参加できるような方法を検討してはかがか見解を伺う。

② 猪 股 和 雄 議 員

- 1 障害者および高齢者等の駐車場優先確保対策を積極的に進めるべきである。
 - (1) 身障者用駐車場利用証交付制度（川口市での“おもいやり駐車場制度”）を実現すべきである。
 - ア これまでの検討過程、来年度導入に向けて、方針を明らかにされたい。
 - イ 市内民間施設駐車場管理者の調査および協議をどのように進めていくか。
 - (2) 高齢運転者等専用駐車区間制度の専用駐車区間を市内に設置する見通しを明らかにされたい。
 - ア 調査・検討、警察との協議の経過と見通しはどうか。
 - イ 障害者や高齢者、妊娠している方などの、「高齢運転者等標章」の周知、啓発、申請、交付の状況を明らかにされたい。

- 2 学校給食を、できることからの改善を求める。
 - (1) 久喜地区以外の学校給食食器の強化磁器製への変更を、段階的、計画的に進めるべきである。
 - ア 学校給食審議会に諮問して進めていただきたいが、見解を問う。
 - イ まず、栗橋南小学校の調理室の改築に合わせ、強化磁器製の食器への変更を進めるべきである。設計に盛り込むべきと考えるが、方針を伺う。
 - (2) 鷺宮給食センターを、当面の有効活用をはかるべきである。
 - ア 栗橋南小校舎改築工事中の給食を提供すべきである。
 - (ア) 南小学校校舎改築中の給食調理をどのように実施する方針か、明らかにされたい。
 - (イ) 鷺宮の給食センターで調理する方法はいかに検討したか。

鷺宮第1給食センター、第2給食センターとも、老朽化しているとはいえ施設能力になお十分の能力があり、工事期間中の当面の調理は可能である。給食費は同額であり、食器は鷺宮センター仕様でよいはずで、最も経費を節減できる方法である。
 - イ それと並行して、あるいはその後、栗橋の中学校給食（800食）の調理も行っていくよう検討すべきである。

鷺宮の中学校給食費4,300円は栗橋の中学校給食費（4,700円）に比しても安価に提供できるから、市施設の有効活用と同時に保護者負担の軽減にもなる。
 - (3) センター給食の調理時間、配送時間の見直しを進め、調理終了から食べるまでの時間をできる限り短くするべきと考えるが、いかがか。

久喜地区で米飯提供を飯缶方式に変更した後にもなお、「ご飯が冷たい」という声を聞くが、教育委員会の認識はいかがか。配送時間の他に、学校での保管方法、盛りつけ時間等、考えられる理由は何か。
 - (4) 給食食材の地産地消・久喜産野菜の供給をどのように進めていくか、教育行政と農業行政の両面から見解を問う。

久喜地区と、それ以外の地区とに分けて、考え方と方針を明らかにされたい。

- 3 市立図書館の活動をさらに充実させるべきであるが、方針を問う。
 - (1) 決算委員会で明らかになった、市民1人あたり貸出し冊数の低さの原因をどのように分析しているか、改めて認識を問う。

事務事業評価の指標と評価方法を見直すべきと考えるが、見解を問う。

- (2) 久喜市立図書館の活動を充実向上させるためには何が必要と考えるか。これまでの取り組みの総括と今後の課題を明らかにされたい。
 - (3) 1人あたり図書購入費の低さ、図書館司書の配置について、教育委員会の見解と、財政局の見解を問う。
- 4 総合支所の空きスペース（余裕スペース？）の有効活用の検討方針を明らかにされたい。
- (1) 市民の財産である総合支所を十分に活用しないでおくことは、市行政の怠慢であるといって過言でない。総合支所の空きスペースをどのように活用しようとしているか、市のこれまでの検討経過と考え方を明らかにされたい。
 - ア 基本的に、現在の総合支所としての活用を続けていく方針か、分庁舎としての活用も検討するのか。
 - イ 現在の空きスペースを、当分の間はそのままにしていく考えか。
積極的に活用をはかる方針を打ち出すべきである。
 - (2) 具体的な活用方法を、どのように検討しているか。
 - ア 鷺宮総合支所内の余裕スペースを、障害者施設に活用してもらうことをどのように検討しているか。
 - イ 各地区における「市民団体活動支援室」（ふれあいセンターの福祉団体、ボランティア団体、青少年団体、女性団体活動支援室のイメージ）を設置し、または市民活動スペースとして、市民活動の場に活用すべきである。
 - ウ そうした活用方法を検討した上で、市民活動団体等の利用希望の意向を把握するべきである。
- 5 一部事務組合や広域連合など、久喜市の加入する広域行政の「広報」の充実を進めるべきである。
- (1) 久喜市が加入している一部事務組合などの広域行政における、「広報紙」発行、ホームページの有無を明らかにされたい。
 - (2) それぞれの広域行政の規約や例規は、現在はどこで閲覧できるか。（利根斎場組合、北本地区衛生組合の例規はホームページに掲載されていない）。
 - (3) もしも広報紙やホームページがない場合には、それらの行政の現状と議会などの経過について、市民への情報提供の義務があるはずで、それぞれの管理者や事務局に要請（提案）し、実現すべきである。
それぞれの広域行政の例規について、ホームページへの掲載、または久喜市の例規集への掲載によって、市民の閲覧に供し、知る権利に答えられるようにしておくべきである。
- 6 エイム不正事件と久喜児童クラブ問題の経過を明らかにされたい。
- (1) 障害者自立支援給付費不正事件に対する、エイム代表者たる荒井伸男刑事告訴以降の状況について、どう把握しているか。
 - (2) エイム代表・荒井伸男に対する破産申し立て後の債権（損害金）回収の見通しを明らかにされたい。
 - (3) 学童保育久喜児童クラブの不透明経理による春洋会・大熊氏に対する返還請求はどのように進んでいるか。
 - (4) 特に進展がなければ議会にも市民にも知らせる必要はないと考えているか。

③ 並木隆一 議員

1 栗橋地区・利根川堤防整備強化事業について。

- (1) 民主党政権による事業仕分けの影響はあるのか。
(社会資本整備事業特別会計のスーパー堤防事業の廃止)
- (2) 平成22年11月末までの移転補償契約の進捗状況は。
今後の見通しと、先送りとなっている補償交渉の理由は。
- (3) 強化堤防築堤工事の進め方は。
(工程表と盛土工事の方法について)
- (4) 国から受ける市の機能補償は。
- (5) 県道や管理用道路と、市道との接道の不具合の解消は。
- (6) 八坂神社の移転先は、堤防上に土地区画整理事業の手法で実施され、同地には、防災拠点の整備も予定されているが、その概要について。併せて同地には市有地もあるが、その活用は。
- (7) 堤防整備強化事業と同時に活性化策は。
(ふるさとの川整備事業の活用を、埼玉県川の国事業の活用を)

④ 足立清 議員

1 地籍調査の実施推進について。

国土調査促進特別措置法と国土調査法の一部が改正された。合併後地籍調査を実施していない地域について、実施を促進すべきであるが市の考えを伺う。

地籍調査は自治体が将来へ向け、発展して行くための基礎となる。今後の調査の予定と未実施の場合の弊害について伺う。

2 生ゴミの減量化とCO₂削減の取組みについて。

生ゴミの減量化とCO₂削減を目指し、堆肥化を推進すべきと考えるが、市の考えを伺う。

- (1) 集約方式の生ごみ堆肥化事業拡大の考えについて。
- (2) 家庭用生ごみ処理機補助事業促進について。

3 コンビニでの証明書発行事業等について。

コンビニでの証明書発行事業と自動交付機設置について市の考えを伺う。

- (1) 県内では北本市が初実施となる、住基カードを利用したコンビニエンスストアで証明書の発行事業が全国に広がって来ている。
住民票や印鑑証明などの証明書発行事務のランニングコストが大幅に削減できるが、久喜市でもシミュレーションを実施した上で導入の検討を提案するが、市の考えを伺う。
- (2) カードを利用した証明書自動交付機が本庁舎に設置されているが、他総合支所にも設置をすべきであるが、市の考えを伺う。

4 信号機の改善及び歩道増設事業について。

県道川越栗橋線と交差する市道鷺宮6号線設置の信号機の改善について市の考えを伺う。

- (1) 2年ほど前に現手押し信号機に設置換えされたが、150メートル程離れている鷺宮小学校入り口歩道橋の信号機と連動できないか伺う。
- (2) 同地域の川越線は通学路になっており、朝夕の交通量は増大している。安全対策の面から県への積極的な推進をお願いしたいが、市の考えを伺う。

⑤ 大谷和子 議員

1 廃食油のリサイクルについて。

- (1) 廃食油の回収拠点を設け、官民で協力したリサイクル事業はできないか。
- (2) バイオ燃料に加工し、トラクターやごみ収集車の燃料として使用できるような事業の導入はできないか。

2 東鷺宮小学校の児童増への対応は。

- (1) 23年度4月、東鷺宮小の1年生は4クラスの予定と聞いている。改装して普通教室を増やすが、24年度はそれも足りなくなる。どのような対応を検討しているか。
- (2) 共に学童保育の入所希望も増えると思われるが、現在の鷺宮東コミュニティセンター学童クラブの場所の移転や定員の増員の検討はされているか。

3 小学校外国語活動について。

平成23年度から本格実施される外国語活動について、現在までの取り組みと、来年からの展開について伺う。

4 相談室の充実について。

- (1) さわやか相談員、ふれあい相談員の現在の配置について。
- (2) 各校の相談室の現状は。
- (3) 適応指導教室など関係機関との連携はどのように行われているか。
- (4) 相談員の研修の状況は。
- (5) いじめ・不登校対策に相談室の充実を願うが、考えを伺う。

⑥ 井上忠昭 議員

1 防犯について。

(6月議会で取り上げたが、その後も)空き巣被害が続いている。地域に情報を落とすにも、職員が周知するにも、その前提として起きている情報・事情を知ることから始めなくてはならない。警察と連絡、連携をもっと密にできないか。そのうえで地域とどう対応し、連携していくか、改めて防犯体制の充実をということで伺う。

2 防災について。

自主防災組織について伺う。

鷺宮地区で組織率が高いが、その特徴は。地域性を捉えたり、組織間の連携、情報交換などさらに密にすることで新規にも繋がってくると思うがどうか。現時点で組織率向上の年次計画などないと聞かすが、そうしたものははっきりと持つべきである。そうしたことも合わせて伺いたい。

3 地域ボランティア手帳と学校外のさまざまな行事参加への学校の認識について。

9月より地域ボランティア手帳を行っているが（鷺宮地区はそれ以前から）、学校の認識度がまちまちに感じる。どうみているか。また学校外のさまざまな行事に児童生徒が参加しているが、学校の認識がやはりまちまちで最低限のことすら知らないことが多い。こうしたことをボランティア手帳や市民まつりなどをキーワードに伺っていく。

4 医療問題について（透析）。

- (1) 透析患者にならないために、保健部門としてどのように保健指導をしているか。
- (2) 透析難民という言葉があるようで、受け入れ先がなくお困りの方々が多くいる状況があると聞く。これについて、市としてどの程度認識しているか。また、久喜総合病院の透析室はどの程度の受け入れが可能か。

⑦ 田 島 行 雄 議員

1 県道（12号線）川越・栗橋線の渋滞解消について。

- (1) 県道12号線と新設道路の市道鷺宮17号線の丁字路の停止線の移動を。
- (2) 上清久の交差点に右折帯と矢印式信号機の設置を。
- (3) 六万部橋（東）の交差点に矢印式信号機の設置を。
- (4) 県道12号線と県道3号線（さいたま・栗橋線）の西大輪交差点に矢印式信号機の設置を。

2 県道加須・幸手線の渋滞解消について。

県道加須・幸手線と県道3号線（さいたま・栗橋線）の交差点に矢印式信号機の設置を。

3 交通安全の確保について

市道鷺宮17号線と香取公園の交差点に信号機の設置を。